



あすなる

177号

第9師団

北東北の盾
玖師団

青森県における大雨による土砂災害発生 及び住民孤立化に伴う災害派遣



崩壊した小赤川橋での物資輸送

令和3年8月10日、台風9号から勢力を落とした温帯低気圧に伴う大雨は青森県下北・上北地方に大きな被害を与えた。上北地方の七戸町では2216世帯が断水を、下北地方のむつ市大畑では小赤川橋が崩壊、また風間浦村では土砂崩れにより地域の動脈であり付近住民の生活の要である国道279号線が諸所寸断された。



天間林中学校での給水支援

派遣期間8日間、人員延べ968名、 車両延べ243両が活動

第9師団は、県の要請に基づき第5普通科連隊に災害派遣を命じて、現地の消防や警察と調整を行い、孤立した住民への救援物資輸送及びむつ市側への避難を希望する住民の小赤川橋の通行補助、七戸町における給水支援、小赤川橋の仮設橋整備の支障となる流木の除去を実施し、17日、県の要請により災害派遣を終了した。



戦闘指導を実施する中隊長

第5普通科連隊が防衛で参加 〔令和3年度富士訓練センター（第11次運営）〕

第5普通科連隊（連隊長・降旗1佐）は、9月30日から10月9日までの間、北富士演習場において「令和3年度富士訓練センター（第11次運営）」に参加した。本訓練は第5普通科連隊第3中隊を基幹として人員約280名が参加して実施された。

本訓練の想定は、「侵攻する敵を撃破して師団の作戦を容易化」する任務を有する第5戦闘団より先遣された増強普通科中隊として実施された。増強第3中隊は、新型コロナウイルスの影響により10月4日に状況を開始する予定が遅れ、5日昼に演習場へ進入し防衛準備が開始された。敵機械化大隊の攻撃は、10月6日朝から尖兵中隊の攻撃によって開始された。増強第3中隊は、軽装甲機動車を活用した防衛を行い被害を極限しつつ砲迫火力を發揮して戦闘した。そして同日夕より発生した濃霧により著しく視界が制限され、その機に乗じた敵の攻撃により損耗が増加する中においても、増強第3中隊は、最後まで強靱な近接戦闘を実施して、敵に多大な損害を与え、10月7日朝に状況を終了した。



富士訓練センターでの集合訓練

陸士隊員30名が陸曹を目指す 〔令和3年度後期一般陸曹候補生入校予定者 選考及び陸曹候補生選抜口述試験等〕



3000mにおいて最後まで走りきる受験者



宿営用天幕展張で指揮を執る受験者

第9師団（師団長・亀山陸将）は、10月18日から21日までの間、青森駐屯地において、令和3年度後期一般陸曹候補生入校予定者選考及び陸曹候補生選抜口述試験等を実施した。選抜試験等には、陸曹を目指す1次試験を突破した陸士隊員30名が体力検定、術科試験、口述試験の各課目に臨んだ。

特に体力検定では、腕立て伏せや起き上がり限界まで挑み、3000メートル走においては、各部隊の最上級曹長及び先輩らが見守る中、スタートからゴールする最後まで

で全力で走りきった。

また、術科試験においては一人15分を基準として、宿営用天幕展張を命ぜられた組長として組員を指揮した。受験者の命令号令により組員を指揮して天幕を展開するなど、陸曹に劣らない指揮により果敢に試験に挑んでいた。

その他、口述試験では個人面接を実施し、受験者は試験官の前に緊張した面持ちで臨んだが、試験官の質問に対し、はつきりとした口調で答え、これまでの練成の成果と陸曹を目指す強い意志をアピールした。

青森市防衛協会

会 長 若 井 敬 一 郎
 副 会 長 武 田 隆 一 成 田 晋
 佐々木 聡 藤 澤 貴 之
 事務局長 佐 藤 義 男

自衛隊と一般市民との相互理解と親睦をはかり防衛思想の普及、自衛隊員の激励及び後援等につとめ、もって自衛隊の健全なる育成発展に協力することを目的とする。

- 1 懇談・見学・講演会等を実施し、防衛に関する認識を高揚すること。
- 2 自衛隊の各種行事・活動に協力すること。
- 3 隊員募集に協力すること。
- 4 会員相互の親睦を図ること。
- 5 その他、本会の目的達成に必要な事項

事務連絡場所 青森市新町1丁目2番18号(青森商工会議所会館内)
 TEL 017-775-7920

〈みちのく〉おまとめローン あわせ〜る

複数のお借入をひとつにまとめて
月々の返済額を軽減します！

| | |
|--|--------------------------------------|
| お借入金額 | お借入期間 |
| 最高500万円 <small>(10万円以上1万円単位) ※事業資金は除きます</small> | 最長10年 <small>(6か月以上1か月単位)</small> |

くわしくは
こちらへ→ 

家庭の銀行
みちのく銀行

より、そう、ちから。

いつも、地域の皆さまに、寄り添うこと。
 私たちの、創立以来の変わらない想いを胸に、
 心からの感謝の気持ちと、大きなこころざしを持って、
 これからも私たちは皆さまの暮らしと、
 地域の営みに寄り添い続けます。




 **東北電力**
より、そう、ちから。

はたらくさえ プラス

就業不能保障特約(2020)

「ハローキティ」は、フコク生命のイメージキャラクターです。
 青森支社オリジナルご当地キティ


 Hello Kitty
© 2021 SANRIO CO., LTD. APPROVAL No. L617186

**就業不能時の収入減少をカバーし、
いち早く、より長く、あなたの
生活費をサポートします。**

「はたらくさえプラス」は、さまざまなリスクに対応した特約を組み合わせて作れる複合型保険「未来のとびら」のひとつです。

ご検討の際には、「保険設計書(契約概要)」「特に重要な事項のお知らせ(注意喚起情報)」「ご契約のしおり-定款・約款」を必ずご確認ください。

富国生命保険相互会社 青森支社
 〒030-0861 青森市長島 2-10-3 ☎017-776-2194

すてきな未来応援します ☎広-010-0180 (2021.4.1)
フコク生命

生命保険は、愛する家族への想い。

そして、保険金をお届けすることが私たちの使命です。

“As safe as the Rock” ~ジブラルタ・ロックのように安心~

ジブラルタ海峡に位置する長さ4.8km、高さ400mにもおよぶ巨大な岩山「ジブラルタ・ロック」が、ジブラルタ生命の社名の由来です。
 親会社ブルデンシャル・ファイナンシャルのシンボルである「ジブラルタ・ロック」は、
 時を経ても変わることのない強さ、安定性、専門性、そして革新性を象徴しています。



ジブラルタ生命 保険に愛の本質を

青森第二営業所 〒030-0802 青森市本町1-3-9 ニッセイ青森本町ビル4F tel. 017-721-1810
 弘前営業所 〒036-8001 弘前市代官町17 明治中央ビル7F tel. 0172-32-7245
 青森支社 八戸第一営業所 〒031-0084 八戸市八日町7番地 ジブラルタ生命八戸ビル2F tel. 0178-71-3505
 八戸第二営業所

【コールセンター】0120-37-2269 [ジブラルタ生命ホームページ] <https://www.gib-life.co.jp/>
 【受付時間】平日9:00~18:00 土曜9:00~17:00 (日曜・祝日・12/31~1/3を除く) 携帯電話・PHSからもご利用いただけます。
 通話料無料。

防衛省 職 員 団 体 傷 害 保 険

家族 退職後

| | |
|--------------|--------------------------|
| 総合賠償型(特約) | 日常生活で他人を傷つけたり財物を壊したときの備え |
| 親介護補償型(特約) | 親御さんが要介護状態となった場合の備え |
| 団体長期障害所得補償保険 | 病气やけがで働けなくなったときの所得減少への備え |


防衛省 共済組合が ん 保 険

団体取扱 (アフラック)

<お見積・資料請求 <http://webby.aflac.co.jp/bouei/>>

防衛省 共済組合 団 体 取 扱 火 災 保 険

☆その他 各種損害保険

【取扱代理店】  **弘済企業株式会社**

詳しくは、下記の各駐屯地保険常駐員にご相談ください。
 青森：成田、後藤(内線6374) 八戸：小田桐、牟田(内線3365)
 弘前：武田(内線478) 岩手：菅原(内線343) 秋田：小玉(内線270)



第9師団のホームページ、Twitterも
 随時更新中だから見てみてね！！

